

播磨町長 佐伯 謙作 様

提言書

令和5年3月

播磨町地域コミュニティのあり方検討委員会

これからの播磨町の地域拠点についての提言 その1

2023.3.29

播磨町地域コミュニティのあり方検討委員会

我々、播磨町地域コミュニティのあり方検討委員会では、「協働のまちづくり宣言」の主旨を踏まえて、播磨町のこれからの地域拠点について議論をおこないました。ここでいう地域拠点とは、公共施設に限らず、地域の居場所も含んでいます。

それらの取りまとめとして、これからの播磨町の地域コミュニティを育てる地域拠点として基本理念を定めた上で、4つの機能を基本機能として備えることを期待し、提言します。

なお、地域コミュニティのあり方については、住民、行政、事業者等と協働で議論し今後も検討を続けることが必要であることから、本提言は機能面の充実に焦点をあてて、その1としています。またこれら機能を発揮するための方法なども今後検討を致します。

基本理念 「つながり、学び、活動が循環する場」

基本機能

- ① 地域拠点同士の連携とそれらの活性化を図り、学びが循環する機能
 - ・中央公民館がセンター機能を持ち、4コミセンへのサポートを積極的に行うこと
 - ・地域、団体、活動などの情報を集約し発信することで住民の関心を高めること
 - ・住民が主体となるつながり、学び、活動する循環を促進すること
- ② 地域住民のつながりづくりと交流を促進し、一層の人をつなぐ機能
 - ・地域のつながりづくりや町民の活動を支援し育てること
 - ・趣味や興味、課題解決などのテーマで多世代や多様なコミュニティとつながりを育むこと
 - ・生活圏内に乳幼児から高齢者まで誰もが気軽に集える居場所があること
 - ・地域に開かれると同時に、活動やテーマに特徴を持たせること
- ③ 生涯学習の拠点として、住民の学びや成長を促進する学習・活動する機能
 - ・年代やニーズに応じ様々なテーマの講座や学習機会を設けること
 - ・前例に縛られることなく新たな学習や活動を行うこと
- ④ 地域活動支援、団体活動の立ち上げ支援や活性化をアドバイスする機能
 - ・団体や個人のコーディネートや必要に応じた事業を実施し、住民の活動量を高め、内容の多様化を図ること